

新潟米マンスリーレポート



(令和8年7月・臨時号)

令和8年産主食用米の約6%は販売先未定 ～需要がある輸出用米・米粉用米等への転換を進めましょう～

主食用米の民間在庫が過去最大水準となるなど、米の需給環境が大きく変化しています。このため、県では、県内の稲作経営体（約500経営体）を対象に、令和8年産主食用米の販売見通しについて緊急調査を実施しました。

その結果、令和8年産主食用米の約6%について、現時点で販売先が決まっていないことが明らかとなりました。

現在の需給状況を踏まえ、販売先の見通しが立っていない主食用米については、需要がある輸出用米や米粉用米などへの転換を進めましょう。

※ 非主食用米等の営農計画書や取組計画書は、実需者等の契約相手方の同意を前提に、8月20日まで変更が可能です。主食用米から非主食用米等への転換を考えている農業者の方は、至急、集荷業者等にご相談ください。

【令和8年産主食用米の販売見通し等に係る緊急調査】

1 目的

令和7年産米の販売量が低調に推移し、主食用米の民間在庫が過去最大の水準となる中、県内の稲作経営体の販売・契約状況を把握するため、緊急的に調査を実施。

2 調査対象

県内の主要な稲作経営体（523経営体）

3 調査時期

令和8年6月末～7月中旬

4 結果概要

○ 令和8年産の主食用米販売量のうち、直接販売量は約15%、買取販売量は約27%、うち販売先が未定のは約6%

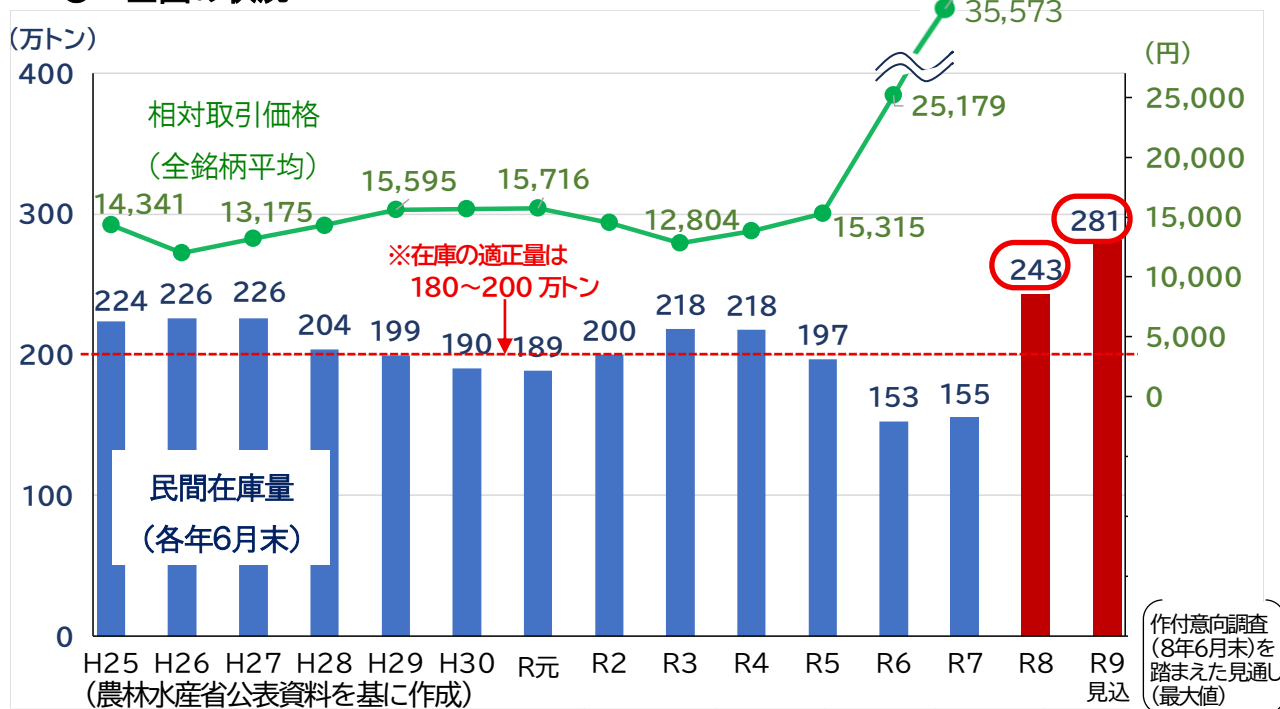
	販売量	委託販売	直接販売	買取販売	契約済み	販売先未定
本調査	75,200 t 〔100%〕	43,700 t 〔58%〕	11,400 t 〔15%〕	20,100 t 〔27%〕	15,300 t 〔21%〕	4,700 t 〔6%〕

○ 販売先からは、「買取価格を下げたい」、「買取量を減らしたい」等、今後も販売環境は厳しい見込みとなる声が多数。

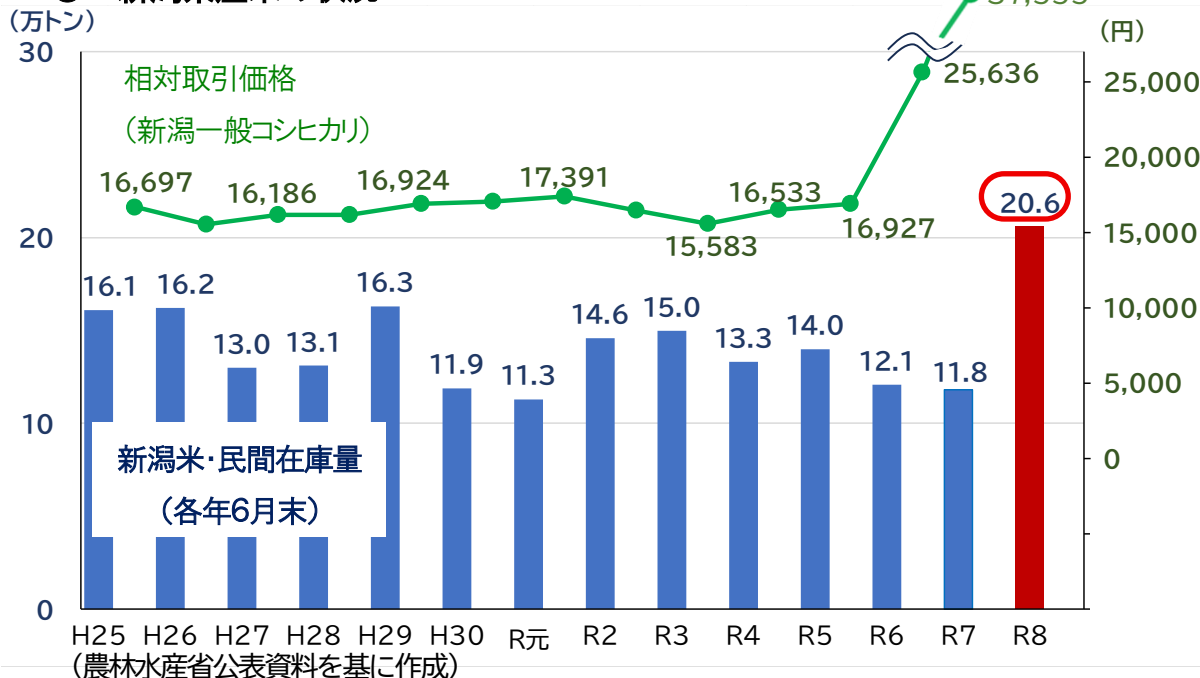
国の見通しでは、令和9年6月末の民間在庫は最大281万トンへ拡大

【相対取引価格と民間在庫の推移】

○ 全国の場合



○ 新潟県産米の状況



- 全国、新潟ともに、これまでにない水準まで民間在庫が拡大（見込み）しており、需給の適正化が急務となっています。
- 販売先の見通しが立っていない主食用米については、需要がある輸出用米や米粉用米などへの転換を進めましょう。

【調査結果詳細】

1 調査対象経営体の概要

(1) 経営形態

	法人	個人	計
経営体数	316	207	523
割合	60%	40%	100%

(2) 作付規模

	5ha未満	5～10ha	10～30ha	30～50ha	50～80ha	80ha以上	計
経営体数	43	59	201	107	90	23	523
割合	8%	11%	38%	20%	17%	4%	100%

(3) 用途別作付面積

用途	主食用米	加工用米	飼料用米	WCS用稲	米粉用米	輸出用米	その他	計
計(ha)	14,364	1,198	133	168	140	318	265	16,586
割合	87%	7%	1%	1%	1%	2%	2%	100%

2 令和8年産に主食用米の作付を増やした理由(重複・未回答あり)

1位: 農地集積による増加(回答数: 154)

2位: 販売先からの要望(回答数: 67)

3位: 米価が高いため(回答数: 48)

3 販売先から農業者に対する要望件数(有効回答数: 121)

- ・主食用米の買取数量を減らしたい、又は価格を下げたい: 60件
- ・主食用米の買取数量、価格は変化なし: 38件
- ・主食用米の買取数量を増やしたい: 23件

発行元: 新潟県農林水産部農産園芸課

TEL: 025-280-5295

URL: <https://www.niigatamai.info>